

各地で農業祭・農協祭にぎわう

地区で特色あるイベントを開催

JAは10月から3月にかけて、管内各地区で農業祭・農協祭を開いています。10月、11月、12月には各地区で特色ある祭りを行い、大勢の来場者でにぎわいました。

農産物品評会・即売会、ステージイベントでは餅まきや食育クイズなど、各地区多彩な催しを企画。その他、イチゴやミカン、茶、米、サツマイモなど特産品の販売や青壮年部・女性部・生産組織・JA職員による模擬店など、来場者は地場農産物の魅力に触れ、生産者・職員との交流を深めました。



来場者に人気の農産物販売(なんすん地区)



ミカンの1kg当てチャレンジ(伊豆の国地区)



女性部による豚汁サービス(御殿場地区)



食育クイズ(富士宮地区)

地域農業の応援団・ファン作りへ

「マックスバリュ」21店舗に広報誌を設置

JAは、奇数月に発行するタブロイド版広報誌の設置を東部地区のスーパー「マックスバリュ東海」21店舗で新たに始めました。

マックスバリュ東海は地域密着型の店舗運営で、「じもの」ブースもあることから、特販課と取引がある店舗の協力により設置に至りました。広報誌を通じて地場農産物のおいしさを広め、消費者の買おう・食べるなどのアクションにつなげていきます。



長泉中土狩店「じもの」コーナーに設置された広報誌

意欲ある生産組織を支援

令和8年度あぐりチャレンジ事業で12件採択

JAは11月18日、令和8年度あぐりチャレンジ事業審査会をサテライト本店で開きました。

生産部会などから13件の申請があり、「チャレンジ性・実現性・将来性」「協同性」「方向性・波及効果」など5項目について総合的に審査。イチゴや花芽の高温対策など12件1,258万円を採択しました。今後は営農アドバイザーが伴走型支援を続け、生産組織とともに農業生産の拡大を目指します。



當農経済委員長や當農担当常務など役職員が審査



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JAふじ伊豆はSDGs「1~17の目標」につながる取り組みを行っています。

各所に記載のマークはSDGs目標アイコンです。

管内生産者・児童らが多数受賞

全国や県の品評会、コンクールなどで最高位・上位入賞

8月から12月、ワサビや米、イチゴ、茶などの全国・県品評会、畜産共進会などが行われました。各賞の上位入賞者は次の皆さまです。



■ 第40回全国わさび品評会

特賞・農林水産大臣賞: 勝又敬一郎(御殿場)
特賞・全国農業協同組合連合会理事長賞: 塩谷修(伊豆の国)
特賞・全国わさび生産者協議会会長賞: 山口長之(伊豆の国)
優秀賞: 高村範利(伊豆の国)、勝又京治(御殿場)、鈴木敏彦(伊豆の国)、藤井幸光(伊豆太陽)、下山雄大(伊豆の国)、土屋一幸(伊豆太陽)、稻葉泰助(伊豆太陽)、西尾隆夫(伊豆の国)

■ 第22回お米日本一コンテストinしづおか

金賞・静岡県知事賞: ヤンチャFarm(御殿場)
金賞: 杉山浩也(御殿場)

■ 第27回米・食味分析鑑定コンクール国際大会inつくばみらい 都道府県部門

金賞: 濑戸信吾(御殿場)

■ 第4回全日本お米グランプリin北広島町

銀賞: 勝又友之(御殿場)

■ 第一回節水栽培米グランプリ

優秀賞: かつまたファーム株式会社(御殿場)

■ 第15回大阪府民のいっちゃんうまい米コンテスト

最優秀賞: 勝又友之(御殿場)
優良賞: 遠藤博雄(御殿場)

■ 第79回全国茶品評会

3等: 小林園 小林裕直(富士)、山二園 後藤裕揮(なんすん)、木村園 木村和彦(富士)

■ 第29回全国手もみ製茶技術競技大会

最優秀賞: 静岡県茶手揉保存会富士支部 勝又匠、勝又正登、荻野和也(富士)

■ 第36回静岡県いちご果実品評会

金賞3席・静岡県知事賞: 神田豊通(伊豆の国)
金賞5席: 高田祐樹(伊豆の国)
銀賞: 植松稔(伊豆の国)、山口信幸(伊豆の国)、永倉玄太(伊豆の国)

■ 第99回静岡県畜産共進会・乳牛の部

名誉賞・農林水産大臣賞: 高橋実徳(伊豆の国)
最優秀賞: 岩城正盛(三島函南)、長田博行(御殿場)、高橋実徳(伊豆の国)

■ 第99回静岡県畜産共進会・肉牛の部

優秀賞: 前島昌夫(三島函南)、(株)富士SUNRISE牧場(なんすん)、(株)やまだいふあーむ(なんすん)、加藤徳夫(なんすん)、加藤文子(三島函南)

■ 第33回静岡県キウイフルーツ果実品評会

銀賞: 萩原元治(あいら伊豆)



17
パートナーシップで
目標を達成しよう

敬称略、()かっこ内は地区名

■ 令和7年度JA共済 小・中学生
書道・交通安全ポスターコンクール

<全国>

書道の部

文部科学大臣賞: 飯田愛菜花(富士宮市立東小学校4年)

家の光協会会長賞・ちゃぐりん賞:

飯田将仁(富士宮市立東小学校2年)

全国共済農業協同組合連合会会長賞・銅賞:

源平統子(富士市立田子浦小学校3年)

交通安全ポスターの部

全国共済農業協同組合連合会会長賞・佳作:
森田董(三島市立南中学校3年)

<静岡県>

書道の部

金賞: 飯田将仁(富士宮市立東小学校2年)、源平統子(富士市立田子浦小学校3年)、飯田愛菜花(富士宮市立東小学校4年)、高橋璃子(沼津市立門池中学校3年)

交通安全ポスターの部

金賞: 林瑞歩(御殿場市立高根小学校2年)、市川紗良(富士市立鷹岡小学校4年)、樋口泰雅(三島市立中郷中学校1年)、井出百音(学校法人静岡理工科大学星陵中学校2年)、森田董(三島市立南中学校3年)

優秀学校賞: 三島市立南中学校、富士市立鷹岡小学校



金賞・県知事賞のヤンチャFarmの皆さん
(お米日本一コンテスト)



名優賞・農林水産大臣賞の高橋実徳さん(右)
(県畜産共進会・乳牛の部)

小・中学生書道・交通安全ポスター
コンクールの入賞作品はこちらから
(静岡県のJAホームページへ)





御殿場のワサビ3年連続最高位

第40回全国わさび品評会で受賞

第40回全国わさび品評会で、御殿場山葵組合の勝又敬一郎さんが最高位の特賞・農林水産大臣賞を、同組合の勝又京治さんが優秀賞・東京促成青果株式会社賞を受賞しました。

これを受け11月19日に梶谷組合長に、12月1日に勝又正美御殿場市長に受賞を報告しました。勝又市長は「御殿場地区のワサビが日本一だと証明されたことは大変光栄」と二人をたたえました。



勝又京治さん(左)・敬一郎さん(右)が勝又市長(中央)に報告



高品質出荷へ意思統一

イチゴ生産者大会開く

富士地区苺部会は12月2日、富士営農経済センターで生産者大会を開き、部会員や市場関係者、JA、経済連職員などが参加しました。

今期は12月に本格出荷を迎える、生産・販売の情勢報告や目ぞろえ会、講習会を実施。出荷基準の統一と栽培技術の向上へ意思統一を図りました。宮崎和洋部会長は「より良いイチゴの出荷に向けて、部会一丸となって頑張ろう」と呼びかけました。



目ぞろえ会では着色基準などを確認



資材作製し青壮年部事業をPR

SDGs推進と食品ロス削減に貢献

青壮年部富士宮地区本部は「SDGsフードサイクルコミュニティ活動」の周知と活性化を目的に、新たにのぼり旗と横断幕を作製しました。

同事業では食品ロス削減に向け、ファーマーズ出荷者などから規格外野菜の提供を受け、調理実習などで野菜を必要とする市内小中学校に寄贈。荻真教部長は「活動をPRして集荷につなげ、SDGsの推進に貢献していきたい」と話しました。



野菜の寄贈式で新資材の横断幕を掲げる部員



一年の豊穣に感謝

三嶋大社の新嘗祭に野菜宝船を奉納

青壮年部三島函南地区本部と三島商工会議所青年部は11月23日、三嶋大社で行われた新嘗祭に野菜宝船を奉納しました。

部員が栽培した野菜を持ち寄り、全長5m、重さ3トン越えの野菜宝船を制作。前日の22日には白滝公園で禊祓を行い、三嶋大社まで奉納野菜をみこしで運びました。祭典終了後には宝分けを行い、伝統行事と地元野菜をPRしました。



丁寧に野菜を飾りつける青壮年部員



品質向上・地産地消の推進へ

大豆の選別機を導入

中伊豆大豆生産組合はJAのあぐりチャレンジ事業の助成金を活用し、12月に新たな大豆の選別機を導入しました。従来機に比べ選別機能に優れ、品質向上や作業の効率・省力化が図れます。

同組合は、地域農業の促進と地元流通を事業の基軸とし、伊豆市の遊休農地活用にも貢献しています。同機の導入で収益性の向上を図り、大豆の生産量維持と地産地消活動の継続につなげます。



新たな選別機で作業をする生産者ら



生産振興へ栽培品種検討

カーネーションの試作品種を調査

東伊豆町花卉園芸組合は、カーネーションの生産振興に向けて栽培品種の検討を進めています。

12月には、同組合役員やJA、県などの関係者が同町の5ヵ所のハウスを巡回し、試作品種の生育を調査。品種ごとの生育や1株当たりの収穫本数などを確認しました。1月には同結果と実際に収穫した切り花の出来を見比べて参考にし、次期作の品種を選抜しました。



生産者やJA職員らが試作の花の生育状況を調査